

令和３年度第２回 富秋中学校区等まちづくり検討会議 議事概要

１．日 時：令和３年１０月２１日（木）１９：００～

２．場所：和泉市 人権文化センター 大会議室

３．出席者：委員 13名
和泉市職員 24名
コンサルタント 7名

４．議事次第

- （１）ここまでと今後の検討の進め方について
- （２）各プロジェクトの状況について【多世代交流拠点施設】
- （３）各プロジェクトの状況について【学校】
- （４）各プロジェクトの状況について【公園】
- （５）その他

５．議事概要

※以下、特記無き場合委員の発言

■今後の検討の進め方について

○市浦より資料説明 資料【ここまでと今後の検討の進め方について】

■各プロジェクトの状況について【多世代交流拠点施設】

○市浦より資料説明 資料【これまでのふりかえり】
【まちづくりニュース（第３回富まちミーティングの報告）】

- ・特に意見はなかった。

■各プロジェクトの状況について【学校】

○坂倉建築研究所より第１回開校準備委員会ニュースレター説明・報告

○市より資料説明 資料【第２回開校準備委員会の資料】

■各プロジェクトの状況について【公園】

○ヘッズより資料説明 資料【公園の計画のまとめ案】

- ・基本計画に関して、検討会議での流れについて補足させていただく。基本計画のまとめ案（骨子）は、本日公園について説明を行ったように、検討会議で説明・報告をし、ご意見をいただいた後、市で最終的な基本計画としてとりまとめる流れである。そのため検討会議としては本日が最後の議論する場

となるので、ご意見をいただきたい。市営住宅や多世代交流拠点施設なども同様、次回の検討会議で基本計画のまとめ案について説明し、同様に進めていく予定である。(コンサル)

- ・公園の基本計画としては説明のあったとおりの予定で進んでいくが、公園の運営に関する内容（公園の活用方法や運営の仕方など）については、引き続き今後も地域で話し合っていきたい。

■その他・意見交換

○坂倉建築研究所より、開校準備委員会での意見について紹介

- ・学校の通学路の問題について、以前から問題になっていた阪和線をどのように越えるかの対策が、今日の資料では特に記載されていないが、何か考えている対策はあるか。

⇒通学路の問題については市でも認識しており、安全確保の観点から、どのように解消することが可能か、現時点で具体的なことは決まっていないが、今後検討を進める予定である。(市)

- ・学校名の募集対象についてお聞きしたい。以前開校準備委員会の中で、応募対象外の人でも、和泉市内に在住で地域あるいは新しい学校へ興味を持っている人、色々な事情でこのまちへの引っ越しを検討している人も応募対象に入れてはどうか、ということで、もしホームページ上でQRコードを公開するようなことが可能であれば、対象区外の人でも対象に入れてほしい、と話したように記憶しているが、本日資料ではそのようになっていない。決まってしまったものは仕方がないが、開校準備委員会での話し合いを受けて、どのような経緯で応募対象者を決めたのか教えてほしい。最初から方針ありきだったのではと感じる。話し合った内容が説明もなく反映されずに進んでしまうようであれば、この先も同じようなことが起きるのでは、と心配している。

⇒いただいたご意見に対し市の考えをお返りする配慮が欠けていて申し訳なかった。同じ小中一貫校の榎尾学園の学校名については、特認校であったことから、市全体を応募対象者としていた。今回の富秋中学校区で整備する学校についても、市民に広く知っていただくことは、このまちに住むことを検討してもらう上でも必要、という認識のもと市内で一定議論した。ただ、この地域に思いを寄せている方は一定いると思うが、新たな学校名を決める思い・理由を持って応募することのハードルは高いのでは、という話し合いの結果、今回の応募対象者については、地域に思いがあり、ゆかりもある方々を中心に募ることとなった。ご指摘のとおり、決定経緯についての説明が欠けていたことについてはお詫び申し上げます。(市)

- ・表向きには上記の応募対象者でもよいが、応募対象外としている人でも、興味ある人から実際に意見が寄せられた場合には、柔軟に対応いただきたい。また変更の余地があれば、今日の意見をふまえて検討してほしい。
- ・前回の検討会議で、市営住宅の跡地について市民体育館を移設する話が出ていたと思うが、現在の検討の進捗について教えてもらいたい。また、プールの授業の見直し（民間等屋内プールの活用）について報告があったが、中学校の水泳部はなくなってしまうものなのか、など今後の想定について教えてほしい。

⇒現時点で、プール授業の見直しについて、今後の明確な方向性は現状、決まっていないが、中学校

の部活動や夏休み期間中の指導、記録会などをどうするかといった課題もあると認識しており、そのため令和３・４年度にモデル校で試行実施、効果測定と課題整理を行っているところである。その結果をふまえ、全体計画を策定する段階では、一定の方向性を出していきたいと考えている。(市)

⇒市民体育館の移設について、現在の幸団地２８～３０棟及び北部総合福祉会館の跡地(約 9,000 ㎡)を候補地とすることについて、まちづくりの観点からも基本的に望ましいと考えている。ただし、他の跡地活用で商業施設や戸建て住宅などが建つ中で、市民体育の移設が望ましいかということについて、民間事業者の市場性調査を行った結果を踏まえ、検討するということを前回の検討会議で説明した。現在の進捗については、８月中旬頃から、民間事業者のサウンディング調査を行なっているところであり、その結果を踏まえ、跡地活用の方向性として、市民体育館の移転候補地についても、年明け頃に決定する予定をしており、その際には、改めてご意見をいただければと考えている。(市)

○次回の検討会議は、１１月の開催を予定している。予定としては、市営住宅と多世代交流拠点施設の基本計画のまとめ案を説明・ご意見いただきたいと考えている。

以上